

「タオル生地を用いた厚手アパレル製品の開発」 研究部会

(R5～R6)

武田ソーイング(株) 合資会社エム・スタイル 繊維産業技術センター

前年度に得られた、鹿の子風組織を応用した伸縮性を有する厚手タオル生地の製織条件と試作品をもとに、本年度は、商品化に向けたタオル製造企業における製織条件及び加工条件の検証とデザイン企画の検討を実施し、パーカーの試作を行いました。

開發生地の特徴

- 従来の片面タオル生地よりも、パイルを出さない生地表面が平滑で、シワを抑制
- たて糸の高密度化により、アパレル用生地として十分な強度を有する
- 伸縮性素材の使用により、生地ストレッチ性を有する
- パイル長の調節が可能で、生地はパイルを長く出すことで厚みを有する

開発製品

実施内容

【デザイン企画の立案】

- ・コンセプト、ターゲット、ネーミング、アイテム、デザイン、価格、PR方法、販路開拓などの検討

【量産に適した製織条件等の検証】

- ・よこ糸の打込み、番手、伸縮糸の割合を変えた12種類の試作生地(仕上り幅105～135cm)を製織
- ・仕上り幅や生地の伸縮性を検討した結果、仕上り幅約130cm程度で、適度な伸縮性、厚みを有し、コスト低減を考慮した生地仕様を決定
- ・選定した生地仕様をもとに、タオル産地メーカーにて製織、染色加工を行い、パーカー用生地を作製

【パーカーの試作】

- ・パーカー前部をファスナーに変更し、開閉による温度調節、着脱のしやすさを改良
- ・襟首や袖を編物から伸縮性があるやや薄めのタオル生地に変更し、着脱のしやすさを改良
- ・パーカーのカラーリングは3色(黒・グレー・白)



令和5年試作品



令和6年成果品

本研究部会にて実施したアパレル製品(パーカー)の開発を通して、商品化に向けたデザイン企画の立案とタオル製造企業が有する実用織機における、量産に適した製織条件や染色加工に関する知見を得ることができました。

本研究は、ものづくり産業支援事業により実施しました。
「この事業は、中小企業地域資源活用等促進事業の助成金を活用して実施しています」